

FLORA of KOCHI

No.44

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

探してみよう！

ヤッコソウ (ヤッコソウ科)

Mitrastemon yamamotoi Makino

ヤッコソウは 1909 年に牧野富太郎によって発表されたヤッコソウ科の多年生植物です。現在分布の北限は徳島県海部町で、「鈴が峯のヤッコソウ発生地」は国指定の天然記念物となっています。世界では、日本、パプアニューギニア、スマトラ、インド北東部を囲む地域に分布しています。

ヤッコソウは日本ではスダジイやツブラジイのやや大きい木の根に寄生します。夏頃から根にこぶが出はじめ、10 月頃にこぶを破って薄桃色がかかった肌色の芽があらわれ、11 月にかけて開花します。高知県内の市町村で現在生育が確認されているのは、室戸市、東洋町、奈半利町、土佐清水市、大月町といった東と西の端の温暖な地域です。

高知県の東部では、カシノナガキクイムシによる樹木の枯死、いわゆる「ナラ枯れ」が顕著になりつつあります。ヤッコソウが寄生するスダジイやツブラジイも被害を受けることが知られており、ヤッコソウ自生地として有名な室戸市の金剛頂寺においても、既にスダジイが被害を受け、枯死する木もでてきています。

過去に採集された標本は、室戸市と東洋町合わせても数カ所しかなく、詳細な分布は分かっていません。ヤッコソウの人工栽培の成功例はなく、寄生木を枯死させないことがヤッコソウの保全に必須です。保全対策を立てるためには、まず寄生木の位置やサイズ（幹周り、高さなど）、虫害の有無といった基礎的な情報を収集する必要があります。皆様からの情報をお待ちしています。



写真 1 金剛頂寺のヤッコソウ(2005.11.8)



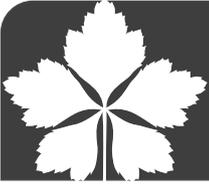
写真 2 カシノナガキクイムシによる食害の穴(2020.8.25)



写真 3 ナラ枯れにあった金剛頂寺のスダジイ(2020.8.25)

【引用・参考文献】

後藤秀章・住吉博和・穂山浩平・関師朋弘, 2008. 奄美大島におけるカシノナガキクイムシによるスダジイの集団枯損の記録. *Kyushu J. For. Res.* 61:96-98
 小林正秀・上田明良, 2005. カシノナガキクイムシとその共生菌が関与するブナ科樹木の萎凋枯死 -被害発生要因の解明を目指して- *日林誌* 87(5):435-450
 牧野富太郎, 1909. 新属新種やつこさう *Mitrastemma yamamotoi* Makino gen. et. sp. nov. に就て. *植物学研究雑誌* 23:326-328
 邑田仁, 2017. ヤッコソウ科. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩(編). 改訂日本の野生植物 4:223. 平凡社, 東京.
 渡部清彦, 2000. ラフレシア科. In: 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫(編). 日本の野生植物草本II離弁花類(新装版第2刷):110. 平凡社, 東京.



高知県の植物 ニュース

■ リュウキュウコケシノブ再発

文・写真：鴻上 泰

リュウキュウコケシノブ *Hymenophyllum riukiense* Christ は、コケシノブ科コケシノブ属の着生のシダで、日本では本州（三重県・和歌山県（白浜町）・高知県（東洋町）・宮崎県南部・鹿児島県南部・屋久島・奄美大島・沖縄本島）に分布し、海外では中国（海南島）とタイに知られています。陰地の水気のある岩の上などに生え、三重県では絶滅、宮崎県と和歌山県では絶滅危惧I類、沖縄県では準絶滅危惧とされています。

高知県では1955年11月22日に赤澤時之氏により東洋町名留川で採集されたのが最初で、この標本は「日本のシダ植物図鑑（第1巻）」（1979）に引用されています。しかしその後同所では発見されず、確認されている標本としてはこれが唯一のものであったため、2000年の「高知県レッドデータブック（植物編）」および2010年改訂版「高知県レッドリスト（植物編）」では絶滅種（EX）とされ、幻のシダとなっていました。



写真2 全体に縮れたように波打つ

ところが、2019年6月に徳島県の成田愛治氏から前田綾子氏に、海陽町でそれらしきシダを佐治まゆみ氏と一緒に見つけたとの一報がありました。7月にコケシノブ属を専門とする海老原淳氏が来高することになっていたため、7月8日に成田氏の案内で海陽町の新産地に行くことになりました。生育地はまずシダ愛好家は入らないような何でもない常緑樹林内を流れる小渓流にありました。一見ホソバコケシノブにも似ていますが、ホソバコケシノブは明るい岩上に生え葉面は明るい緑色であるのに対し、リュウキュウコケシノブはやや陰地に生え、なにより葉柄の翼や葉裂片が縮れたように波打っていました。実際に実物を見ると他のコケシノブ類との区別は容易なように感じられました。



写真1 生育地の小渓流。真ん中の岩全面に着生しているのがリュウキュウコケシノブ



写真3 軸の翼は著しく縮み、裂片も波打つ

当日は念のため、東洋町名留川を4人で探索しました。この場所の植物については、山中二男氏が森林第4号社寺林の研究4(1975)で詳細を報告しており、特記すべき動植物名にリュウキュウコケシノブを書いてはいますが、実際確認したかどうかまではわかりません。海老原氏によると、リュウキュウコケシノブの生育環境は、小渓流の中の岩上で飛沫がかかるような水面に近い場所に生えるということでしたので、林内の小渓流の岩を丹念に探しましたが、結局発見できませんでした。

その後、成田氏から海陽町の別の場所でも発見され、さらにとうとう東洋町でも発見したとの嬉しい連絡が入りました。そこで、2019年10月31日に前田氏と現地へ向かいました。まず海陽町の新産地に連れて行ってもらい、小溪流内の数個の岩に着生しているのを確認しました。その後、案内してもらった東洋町の谷は、上部にポンカン畑があるような短い谷で、あまり「シダ的」ではないと思われましたが、大小5ヶ所の岩にマット状に生育をしているのを確認しました。この自生地は国道からすぐに入れるような谷にあり、あまりにあっけない登場に少々驚きましたが、とにかく県内での再確認は感慨無量でした。今回も含め高知県内での成田氏、佐治氏の成果には目覚ましいものがあり、大いに感謝するところです。

実はリュウキュウコケシノブは兵頭正治氏により愛媛県でも見つかっており、高知県の西部での発見の可能性も出てきています。川の中の石を丁寧に見ていく必要のある見つけにくいシダですが、意外と県内には点在しているのかもしれない。皆さん気にかけておいてください。



写真4 孢子嚢群は楕円形、包膜は二弁状で唇部はまばらな歯牙縁

【引用文献】

海老原淳. 2016. 日本産シダ植物標準図鑑1. 学研プラス, 東京.
 倉田悟・中池敏之. 編. 2005. 日本のシダ植物図鑑—分布・生態・分類 (第1巻). 東京大学出版会.
 緑地研究会. 1975. 森林・第4号社寺林の研究4(高知・長崎・福井). 財団法人土居林学振興会.

■ 高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版公表

文：前田綾子

高知県では高知県植物誌の作成に先駆け、2000年にレッドデータブックが出版されました。その後、高知県植物誌の結果を受け2010年にレッドリストが公表されました。このときは野外調査は実施されませんでしたので、20年ぶりの調査結果に基づく改訂となります。また、基本的には植物誌調査で採集された標本をもとに調査を行なったため、今回の改訂結果こそ高知県植物誌調査の集大成といえるかもしれません。

今回の調査では時代の流れもあって、GPSなどの機械や携帯電話の位置情報から生育地点の緯度・経度を取得、生育地の写真なども撮影していただきました。それによ

て、多くの地点で植物誌の時の1km四方のメッシュ情報から高い精度の位置情報に変換することができました。これらの情報は、次の改訂と次世代の保全活動の基となる重要な資料です。有効に活用できるよう、分布図や標本データ、図鑑の内容、文献等も併せて、1種につき1枚のデータとなるよう、現在集約、整理をしています。

レッドデータブックの調査は昨年度で終了しましたが、新しいことが明らかになれば、環境省と同様に部分的な改訂が毎年度行われていく可能性があります。引き続き情報収集していきたいと思っています。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表1 絶滅危惧種カテゴリー別集計表

		絶滅 EX	野生絶滅 EW	絶滅危惧			準絶滅危惧 NT	情報不足 DD	合計
				CR	EN	VU			
高知県レッド データブック 2000	シダ植物	3	1	51	34	13	8	8	118
	裸子植物	0	0	0	0	6	0	0	6
	被子植物	36	0	240	164	118	62	31	651
	小計	39	1	291	198	137	70	39	775
高知県 レッドリスト 2010年改訂版	シダ植物	4	1	59	25	31	16	14	150
	裸子植物	0	0	0	0	7	0	0	7
	被子植物	42	0	224	161	176	82	104	789
	小計	46	1	283	186	214	98	118	946
高知県 レッドリスト 2020年改訂版	シダ植物	5	1	50	29	31	16	8	140
	裸子植物	0	0	1	0	5	0	0	6
	被子植物	38	1	192	201	163	77	41	713
	小計	43	2	243	230	199	93	49	859

* ~高知県の絶滅のおそれのある野生植物~高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版の表3.1の一部を抜粋。

* 高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版は <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030701/2020032500321.html> からダウンロードできます。

■ 令和2年度 分類学セミナーのお知らせ

令和2年度下半期の分類学セミナーを下記の予定で開催します。コロナ禍の今こそ密かに植物を覚え、地道に標本を採集する機会です。皆様ふるってご参加ください。

令和3年2月以降にアブラナ科タネツケバナ属講座（講師／京都大学工藤洋教授）を予定しています。開催日程が決まり次第ご案内いたします。

ウマノスズクサ科カンアオイ属の見分け方（初級～中級）

講師／寺峰孜（元高知学園短期大学教授）

日時／令和3年1月30日（土）10：00-12：00

場所／牧野富太郎記念館本館 映像ホール

申込先／担当：橋本、田邊

メール：橋本(thashimoto@makino.or.jp)

田邊(kurahashi@makino.or.jp)

Tel：088-882-2673

（標本室直通，土日祝日除く，9：00-17：00）

FAX：088-882-8635（代表）

※定員30名（申込先着順）です。

※セミナー直前に詳細をご案内しますので、氏名・住所・電話番号、（お持ちであれば）メールアドレスをご連絡ください。

※ボランティア登録者は入園料無料です。

■ 特定外来生物「ナルトサワギク」防除活動参加者募集

美しい景観を有する芸西村琴ヶ浜で、特定外来生物「ナルトサワギク」の防除活動をおこないます。

日時／10月3日（土）8：00-10：00

※小雨決行・荒天中止

集合／8：00 芸西村琴ヶ浜河口付近 臨時駐車場

参加費／無料 ※集合場所までの交通費はご負担ください。

持ち物／飲み物、タオル、雨具、手袋（軍手等）、根掘り、虫除けスプレー、保険証（写しでも可）

服装／長袖・長ズボンで動きやすい服装・帽子（ハチ対策として、黒色や濃い色は避けてください）、歩きやすく汚れてもよい靴、マスク（フェイスカバー等）

参加方法／9月28日（月）までに電話またはFAXにてお申し込みください。

申込先／担当：田邊

Tel：088-882-2673

（標本室直通，土日祝日除く，9：00-17：00）

Fax：088-882-8635（代表）

※ボランティア行事保険に加入します。申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

***新型コロナウイルス感染拡大防止のためご参加にあたって注意事項がございます。詳しくは同封のチラシをご覧ください。**

■ 植物に関する問い合わせ

毎週火曜日（休日の場合はその翌日）に植物研究課の田邊、前田、橋本（季）が高知県の植物の問い合わせに対応しています。写真では同定が難しい種類がありますので、押し葉状態（仮押しでも結構です）にするか、新鮮なうちにお持ちください。

植物に関する全般の問い合わせは、月・水・金の16時から17時まで、教育普及課の職員がお答えします。

（Tel:088-882-2723）

■ 編集後記

本号では、再発見されたリュウキュウコケシノブについてと高知県レッドリスト2020公表を報告いたしました。皆様のご協力により県内の植物の研究は少しずつ進んでいます。なお今後一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

No.44の発行担当：前田綾子・鴻上泰・藤川和美

★原稿募集中！高知県の植物に関するニュース、トピックお待ちしております。



高知県立 牧野植物園
The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

〒781-8125 高知市五台山4200-6
TEL:088-882-2601
FAX:088-882-8635
https://www.makino.or.jp/

【本号の内容についてのお問い合わせ】
前田 (ayakom@makino.or.jp)
藤川 (saussure@makino.or.jp) まで